

2015-2016 年度 経営計画について

ソラシドエア(スカイネットアジア航空株式会社 本社:宮崎県宮崎市 代表取締役社長:高橋 洋)では、2015-2016 年度経営計画を策定いたしました。

当社では、前中期経営計画期間において、経営ビジョン『新たな成長に向け、強いソラシドエアになる』のもと安全運航を堅持しつつ、ソラシドエアらしいサービスを提供するとともに本邦新規航空会社トップレベルのコスト競争力の達成や、2013 年夏ダイヤからの羽田増枠を活用した羽田＝九州路線の増便・沖縄＝神戸線の開設により九州・沖縄を基盤とする路線ネットワークの拡充を図ってまいりました。

一方、足元の原油価格は急激に下落しているものの、円安の進行による航行関係費等の費用増や他社との競争は一層厳しさを増しております。当社は、引き続き安全運航を第一としながらも、このような厳しい競争環境に対応し新たな成長を確かなものとするため、2015-2016 年度経営計画の達成に向け、鋭意努力してまいります。

1. 経営ビジョン

『新たな成長に向け、強いソラシドエアになる』

2. 定量目標

① 財務

売上高営業利益率 5%以上 (ユニットコスト 7.99 円)

② オペレーション品質

就航率 99.0%以上・定時出発率 93.0%以上

3. 事業戦略

① 機材計画

- 2015 年 3 月末に Boeing737-800 型機を 1 機増機し、12 機体制とする
- 将来を見据えた適正機種、機材数の検討を進める

② 路線便数計画

I. 国内線

- 2015年夏ダイヤより沖縄=中部線(1往復/日)・石垣線(2往復/日)に就航し、沖縄発着路線を拡充
- 収益最大化に向け、競合環境等を勘案し既存路線便数の再検討
- 那覇空港 2020年拡張までのステップとして沖縄路線を強化

II. 国際線

- 2015年秋に国際チャーター便運航の実施を目指す

③ 生産量計画

Boeing737-400型機(150席)からBoeing737-800型機(174席)への機材更新の完了と、2015年夏ダイヤからの沖縄=中部線・石垣線の新規路線開設により、2015年度以降は2014年度と比して9%(提供座席キロベース)の生産量増加を見込みます。

		2014年度	2015年度	2016年度
運航便数	全路線	22,324	24,639	24,639
	2014年度比	100.0%	110.4%	110.4%
提供座席数 (千席)	全路線	3,848	4,287	4,287
	2014年度比	100.0%	111.4%	111.4%
提供座席キロ (百万)	全路線	4,064	4,431	4,431
	2014年度比	100.0%	109.0%	109.0%

4. 損益計画

更なる売上規模拡大・コスト最小化にむけた取り組みを実行し、営業利益率 5%並びに安定的な利益確保を前提に、ステークホルダーへの還元を目指します。

(単位:億円)

	2015年度	2016年度
売上高	372	374
営業利益	16	16
営業利益率	4.4%	4.4%
当期利益	9	9

ユニットコスト	8.04円	8.08円
為替前提(¥/\$)	123円	123円
原油単価前提(\$/B)	63ドル	63ドル

以上